

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぶれみあむ原		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 4日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 10日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プレイルーム、食堂スペース兼机上活動スペース、個室部屋と用途に合わせた場所が確保できる。	集団による運動活動や机上活動、少数によるグループ活動、個別活動と用途に合わせ使うことが出来ている。また、集団活動に苦手な子どもがパニックを起こした際にはクールダウンを促し落ち着ける場所を提供している。	個別活動の割合が低いためグループ活動を細分化し個々のスキルに合わせた活動を提供し子どものスキルアップに繋げていきたい。
2	利用者(子ども)の特性幅が広いが、その特性に合わせ個別・集団と支援をすることが出来ている。	個々の子どもたちの特性や日々の様子を毎日のミーティングで話し合い、子どもの特性に合わせた支援方法の工夫や情報共有を行い支援出来ている。また、毎月の内部研修に加え福岡市の研修に参加していることよりスタッフのスキルアップに努めている。	支援目標への進捗状況の話し合いや個別支援会議を今以上に充実し日々の支援やサービス向上に努めたい。
3	保護者との連絡や相談に対し、迅速に対応し安心して通って頂いている。	送迎時の保護者への報告(学校の様子やデイの様子)や相談に対し迅速に対応し保護者の信頼や安心して頂けるよう努めている。また、緊急な時にも電話やメールにて24時間受け付けられるよう体制を整えている。	引き続き、連絡や相談に対し迅速に対応できるよう努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が少ない。	子どもの特性上安全を確保することが優先していることや他の子どもとの交流を望まない保護者の方もいるため慎重な姿勢を取っている。	子どもの安全を十分に配慮しつつ、昨年度よりは地域交流が増えているが活動などを通してさらに増やしていきたい。
2	本年度、保護者が未実施。	望まれない方がいたため、開催を見送った。	少人数で行った茶話会の様式が好評であったため、敷居の低いアットホーム感のある保護者会など検討していきたい。
3	家族支援プログラム。	ペアレントトレーニングや父母の会の実施は、現在行われていない。家族支援プログラムについての研修が準備されていない。	保護者の方からの支援内容や課題を含めた相談は、電話やメール、送迎時に行っており、その都度アドバイスや情報提供をしている。今後、ペアレントトレーニングを検討していきたい。